

弱み・脅威

強み・機会

業界共通

原料の確保	国内の漁獲量の減少、食用魚介類の世界的な需要の高まり、国外養殖業の競争力の高まり
労働力の不足	生産年齢人口の減少、業界を超えた人材確保の競争(外国人雇用の拡大)
輸送コストの増大	貨物輸送の小包化・多頻度化、燃料費・人件費の上昇、貨物輸送に関する各種改正
国内市場の縮小	魚介類消費量の減少、魚食離れ
食の安心安全意識の高まり	高度衛生管理への対応(HACCPの制度化)

三陸特有

東日本大震災による影響	三陸の水産加工業の売上回復の遅れ
原料の確保	魚種交代、天然魚の使用率の高さ、病害虫への新たな対応
市場ニーズの変化への対応	食生活の変化(中食需要の拡大)、商品開発力の不足
規模効果の減少	集積度の低下、産地直行便の減少
輸入禁止措置	中国、韓国の水産物輸入停止

業界共通

海外市場の拡大	東南アジア(生活水準の向上)、欧州(食の意識変化)、イスラム圏(需要の可能性)など
インバウンド、「和食ブーム」	「和食」のユネスコ無形文化遺産への選定、国外における日本食レストランの増加 など
国際的なサステナビリティへの潮流	水産エコラベル認証の高まり、水産資源枯渇に関する消費者啓発(シーフードウォッチ)
輸出環境の発達	震災後の輸出規制の緩和、輸送・保存技術の発達
農林水産物の輸出拡大政策	国を挙げた国産農林水産物の輸出拡大政策の推進
ICTの活用による生産性向上の可能性	漁業・養殖業におけるICTの活用、関連産業におけるICTの活用

三陸特有

漁業法の改正	育てる漁業、資源管理、養殖・沿岸漁業の発展に資する海面利用制度の見直し
世界で最も豊かな漁場	世界三大漁場、リアス式海岸
水産関連事業者の集積	水産業クラスターの構築に資するプレイヤーの存在
インフラの充実	交通網、港湾の整備
加工環境の充実	高度衛生管理施設の整備、最新の加工設備の導入

目指すべき姿

『SANRIKU／三陸』を世界トップの水産ブランドにする

「強い企業力&産地全体での強みの追求 ~競争と協創へ~」

A. 世界的信頼の確立（選ばれ続ける三陸）

B. 将来に亘る強い産地

C. コスト上昇要因の克服

目指すべき姿を実現するための具体的な対応

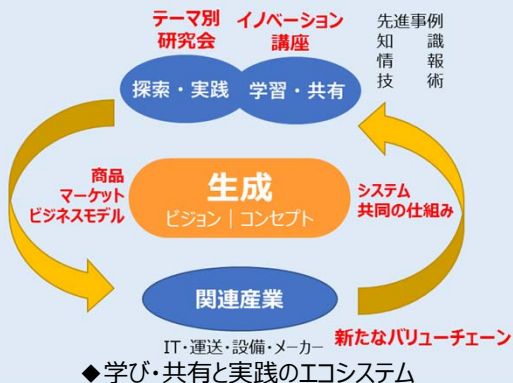
具体的な対応の機会を生み出していくための高質な地域ネットワークの場（※）を通じて 地域における事業者が実践（テーマ別アクション）に挑み続ける仕組みを立ち上げ！

A. 三陸ブランドの確立

B. 変化に強い供給体制の確立

C. コスト削減・リソースの活用

※高質な地域ネットワークの場（イメージ）



- 事業者のやる気を応援する場を試行的に提供します！
- ✓水産加工業者が核となり、（漁業者、IT業者、運送業者、設備メーカーなど様々な関係者と）ビジョン・コンセプトを生成、具体アクションを探索・実践できる場を提供！
- ✓最新事例・取組の講師を招聘、直交流をサポート！
- ✓事業者の取組を後押しするプロモータ等人材の配置！

具体的なアクションテーマの例

A-1. マーケットニーズに基づく商品化

- ① マーケットニーズの把握／探索／試行
- ② 現地コーディネーターとの連携
- ③ マーケットニーズに基づく商品改善の実施
- ④ 共同による新たな商品開発
- ⑤ 『SANRIKU／三陸』ブランドの発信

A-2. 地域商社との連携

- ① 輸出業務の代行
- ② 現地営業の代行
- ③ 業者間のコーディネートによる新たな商品開発

A-B. 共通. SDGs 先進地としての地位確立

- ① ASCやMSC、MELなど認証の推進
- ② 産地全体での対外PR

B-1. 畜養・養殖にむけた取組

- ① 産官学民による新たな蓄養・養殖事業の実証
- ② 三陸地域における養殖の可能性の検討

B-2. 原料の共同調達

- ① 既存の輸入商社との連携
- ② 共同出資による輸入商社の設立

B-C共通. 共同配送システムの導入

- ① 既存の物流事業者のネットワークを活かした共同配送システムの構築

C-1. 加工設備等リソースのシェア

- ① コーディネーターによる水産加工の需給のマッチング
- ② データベースによる加工設備の有効活用
- ③ 加工スキル・人材のシェア